

研究会

(2020年10月15日)

担当 入稻福

問題A 以下の文章を読み、問題に答えなさい。

個人による富の追求を可能にした資本主義は15世紀末にヨーロッパで生まれた。また、この地域にある(A)では、18世紀後半から19世紀前半、世界に先駆けて産業革命が起き、大資本家による富の集中を可能にした。その一方で、一般市民である労働者は資本家に酷使されるようになったが、19世紀後半に労働者階級の窮状を指摘し、労働者の解放を訴えたのは(B) (1818～1883年)である。彼の研究に基づく科学的社会主義は共産主義の基礎ともなり、(C)やその影響下にあった東欧諸国、また、(D)で支持されるようになった。反面、資本主義が発展した西ヨーロッパでは敵視ないし警戒されることも少なくなかったが、労働者の利益を重視する社会主義の考えは西欧諸国でも支持され、現代ヨーロッパの理念・価値の一つになっている。例えば、日曜休業の発想はこれに基づいている。イギリスやオランダでは、これがさらに徹底され、選挙は日曜日ではなく、平日に行われる。労働者の利益を尊重する西欧の資本主義は社会主義的資本主義と呼ばれている。

(B)はドイツ南西部にあるトリーアで生まれた。ルクセンブルクに隣接する、この小都市には古代ローマの遺跡が残っているが、東西冷戦中(第2次世界大戦後～1989年12月)は西側、つまり、西ドイツに属していた。そのため、トリーア(または、より広く旧西ドイツ)では、東側の原理であり、かつ、東西対立を発生させる要因となった彼の経済理論や人物評価は割れている。これを示す事例として彼の像の設置が挙げられるが、生誕200周年に際し、中国が銅像(高さは6メートルにも達するとされている)をトリーアに寄贈する意向を示した時、この都市では、巨大なプレゼントを受入れるべきか議論が生じた。最終的には受諾が決定され、偉大な経済学者の200回目の誕生日である2018年5月5日、除幕式が行われた(写真右)。



問題1 空欄A～Eに適語を入れなさい。

問題2 下線を引いた「大資本家による富の集中を可能にした」の趣旨として正しいものを選びなさい。

- ① 金持ちはますます金持ちになった。
- ② 会社の倒産が多くなり、資本家は仕事にますます集中するようになった。
- ③ 資本家は会社の経営に集中することができた。

問題3 上掲の文章の趣旨に合致しないものを二つ選びなさい。

- ① 第2世界大戦後、ドイツは東西に分裂したが、共産主義を生み出した人物は、東ドイツにあるトリーアで生まれた。
- ② 共産主義を生み出した人物の生誕200周年を記念し、ソ連は彼の故郷に彼の銅像を贈った。
- ③ 東側諸国は共産主義を採用したが、西側諸国もその基盤である社会主義をとり入れている。
- ④ 産業革命によって労働者の労働条件や生活はますます苦しくなった。
- ⑤ 共産主義を生み出した人物の生誕地は、古代ローマの植民地であり、現在でも古代ローマの遺跡が残されている。

問題B 旧東側諸国は社会主義国か、それとも共産主義国か

社会主義も共産主義も生産手段の私有化を認めない点では同じである。(A)、社会主義の下で労働者はその能力に応じて働き、報酬を得る、(B)、全ての労働者の賃金は同一ではないのに対し(なお、社会的給付という形で弱者を保護する点において社会主義と資本主義は異なる)、共産主義の下では労働者は働きに応じてではなく、個人の必要性に応じて対価や給付を得る点で異なる。(C)、社会主義は使用者と労働者といった階級の存在を認めるのに対し、共産主義は認めない点で異なる。

旧東側諸国(例えば、ソビエト社会主義共和国連邦)は階級のない社会、つまり、(ア)社会の実現を目指していたが、実際には階級(知識人・特権階級と労働者・農民)が存在する(イ)国であった。また、労働の対価となる商品・物資は不足していたため、労働者に必要な分だけ与えることはできなかった。社会主義を科学的に体系化し、著書「共産党宣言」でも知られるカール・マルクスは、ソ連(ロシア)のように生産性の低い国で(ウ)は実現できないと述べていた。

なお、これらの国では、労働者によって政治は行われると考えられ、労働者から政治を委託された共産党以外の政党の結成を認めていなかった。このように一党独裁ないし労働者による政治の支配を説くのが共産主義であり、複数の政党の結成・活動が認められる市民的な民主主義の理念に合致するのが社会主義として捉えることもできる。つまり、社会主義と民主主義は対立しない。

問題1 空欄A~Cに入るべき適語を下から選びなさい。

そのため しかし ところで そして また 例えば つまり

問題2 空欄ア~ウに入るべき適語を下から選びなさい(同じ語を入れても良い)

民主主義 自由主義 社会主義 共産主義

問題3 上掲の文章の趣旨に合致する文を次から選びなさい。

- ① ソ連は社会主義の実現を目指していたが、実現しなかった。
- ② 社会主義がさらに発展すると共産主義になる。
- ③ 共産主義と民主主義は対立しない。
- ④ 社会主義のもとでは貧富の格差は生じない。